



たのしっくコンサート



宮下要先生に感謝を込めて

宮下要門下生を中心とした、プロ・アマチュア混合による弦楽アンサンブル



2025年 9月12日 (金)

18:30 開場

19:00 開演

入場無料

小金井 宮地楽器ホール 大ホール
(JR武蔵小金井駅 南口駅前)

プログラム

『四季』全曲 ビバルディ

ユーモレスク ドヴォルザーク 他

四季ソリスト

春:大野晶弘 夏:杉原蓮子

秋:江口章一 冬:橘和美優

主催 たのしっくの会

「たのしっくコンサート～宮下要先生に感謝を込めて」実行委員会 (大野)

Mail vnonoa@yahoo.co.jp

長野県上田市出身、父親と兄が中古のヴァイオリンを入手してくれたことをきっかけに15歳からヴァイオリンを始めた。ヴァイオリンの先生の教室を手伝って無償で子どもたちを指導した際、教え子の父親からの誘いで名古屋放送管弦楽団のオーディションを受け22歳で入団。これを機にプロ演奏家としての道を歩むこととなった。

東京フィルハーモニー管弦楽団副コンサートマスター、群馬交響楽団コンサートマスター、読売日本交響楽団首席、東京ユニバーサルフィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター、同フィルハーモニーの楽団長等を歴任。多年にわたり、日本音楽界の第一線で活躍した。ソロリサイタルは12回に及び、室内楽分野での活躍も多岐にわたった。指導者としては、新宿ミュージックアカデミーの代表として、晩年まで後進の育成に尽力した。生前育成した弟子たちが、コンクールに入賞したり、一流オーケストラのメンバーとなって活躍している。

「四季」 ソリストプロフィール

大野晶弘（春）

東京学芸大学再雇用職員。
ピアノ、クラリネットを経て18歳でヴァイオリンに転向、現在に至る。ヴァイオリンを宮下要氏に師事。
学生オーケストラや社会人によるアマチュアオーケストラのコンサートマスター・首席奏者を歴任。近年は特に室内楽の活動に力を入れているほか、地域でのボランティア演奏も行っている。
室内楽グループ「あんさんぶるおとまつ」代表。

江口章一（秋）

慶應大学在学中、宮下要氏の指導法に感銘を受け、以来半世紀以上に渡り師事する。
現在氏のシュタフオン・ハーゲン譲りの合理的ドイツ奏法を伝えるべく教育活動を行なっている。
NHK・文化庁主催ユニセフ派遣コンクール第一位、東京室内楽コンクールピアノトリオ部門入選。文化庁派遣でカナダ・マギル大学のオットー・ヨアヒム氏に師事。
クレモナヴァイオリン教室主宰。

杉原蓮子（夏）

5歳よりヴァイオリンをはじめる。古屋元広、中島郁子、宮下要の各氏にヴァイオリンを師事。U.コッホ氏にアンサンブルを師事。武蔵野音楽大学を経て、音楽活動を開始。講師やコンクール審査員を務めるなど、後進の育成に取り組む。
ジャンルレススタイルで様々なライブに出演。定期的にリサイタルも開催。2015年イギリスで開催の「ヘイスティングスコンポーザーフェスティバル」ではコンサートミストレスとして参加。2016年「Trio ridi」、2020年「Trio MIKEIRE」をそれぞれ結成。ライブや、コンサート活動を精力的に行う。

橘和美優（冬）

3歳よりバイオリンをはじめる。東京藝術大学主席卒業。東京音楽大学大学院に特別特待奨学生として在学し2025年修了。現在、同大学アーティストディプロマ特待生。本年10月からは、学費免除のスカラシップ生としてパリエコールノルマル音楽院へ留学予定。
日本音楽コンクール、仙台国際音楽コンクール等の国内コンクールで入賞・優勝を重ね、2023年ロンドン国際音楽コンクールで第5位入賞。日本フィル、新日本フィル等の国内オーケストラと多数共演。
宮下要、大谷康子、ジェラルド・プーレ他の各氏に師事。

ヴァイオリン 青木洋一 江口章一
大野晶弘 尾西真弥
川崎伸彦 橘和則子
橘和美優 杉原蓮子
高島落子 田丸千桜
中川真理 中川陽子

ヴィオラ 菅原克美
杉本伸陽
平井祐二

チェロ 杉原正恵
濱田麻里
宮澤等

コントラバス 小林新志

ピアノ 新道美緒

アクセス

JR中央線「武蔵小金井駅」南口駅前

小田急バス、関東バス、西武バス、京王バス
「武蔵小金井駅」下車 徒歩1分

